

栃木県立宇都宮女子高等学校天文部の活動方針及び年間活動計画等		
顧問名	◎松本浩栄 ◎河原真則、鈴木泰代	
目標	◎観察や観測などの活動を通して、天文に関する興味や関心や宇宙に対する探究心を育成する。 ◎異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等の望ましい人間関係の構築を図り、自己肯定感、責任感、連帯感を育成する。 ◎安全管理を徹底し、活動中に起きた「ヒヤリ・ハット」事例を共有して安全対策を講じるなど、学校全体での意識高揚をはかりながら、生徒が安心安全に参加できる運営を行う。	
活動方針	◎生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な活動を行う。特に3密を避けることや消毒を徹底する。 ◎学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ◎活動が夜間になることが想定されるため、保護者への連絡や防寒対策など、活動のリスクマネジメントを構築する。 ◎天文部の活動の実践の場として、夏季休業中に1泊2日の天文観測合宿を行う。(2年に1回程度)	
休養日	◎基本的には月1～2回、屋上での観測会を行う。その他の校内での活動は、顧問との相談の上実施する。 ◎年3～4回程度、校外の観測会等に参加する。 ◎その他は休養日とする。	
活動時間	◎一日の活動時間は、観測を行わない場合は平日はミーティングを中心に1時間程度とする。観測を行う場合は20時までとし、帰宅時間の保護者への連絡や帰宅方法を確認した上で行う。活動はできるだけ短時間で、合理的でかつ効率的・効果的に行う。	
月	参加予定大会等	その他
4月		部活動集会
5月		河内星の子会への参加(会場：田原中学校)
6月		文化祭企画の検討
7月		文化祭企画の準備(～8月)
8月		文化祭参加(宇女高) 天文観測合宿の準備 天文観測合宿(フォレスト益子)
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		